

浦安市 三番瀬環境観察館

〒279-0013
千葉県浦安市日の出7丁目9番1号
TEL・FAX 047-711-1601
☑sanbanze@city.urayasu.lg.jp



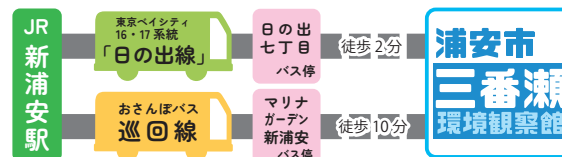
HP:www.ces-net.jp/
/sanbanze/

施設案内

開館時間 9:00-17:00

- 休館日
- ・月曜日（休日の場合は翌平日）
 - ・休日の翌日（日曜日及び土曜日の場合は翌平日）
 - ・12月29日から翌年の1月3日までの間

アクセス



カニたちを育む浦安三番瀬の海

干潟が残された東京湾の最奥、浦安三番瀬。川から流れ込む栄養豊富な水は、プランクトンをはじめ、ゴカイや貝など様々な命を育みます。そんな豊かな海では多くのカニにも出会えます。石をひっくり返すと隠れていたカニたちがうじゃうじゃ。石の隙間以外にも、カキ殻の隙間を利用するもの、砂の中に隠れるものなど、多様なカニたちが暮らしています。



↑岩の隙間に隠れるイソガニ



↑砂の中に潜るマメコブシガニ

命を繋ぐ一員

カニたちは三番瀬の海で命を繋ぐ重要な存在です。ゴカイや貝、魚などが食糧となり、カニたちの命を支えます。その反対に、大型の魚や鳥はカニを捕食します。そんな喰う喰われるの連鎖がこの海で営まれ、その一員として、多様なカニたちが命を繋ぐ役割を担っているのです。



↑カニを捕らえたキアシシギ

浦安三番瀬

カニ鑑

浦安市 三番瀬 環境観察館

うらやすさんばんぜ
浦安三番瀬でよく見られるカニ

＝カニそれぞれの甲羅の形の違いにも注目！

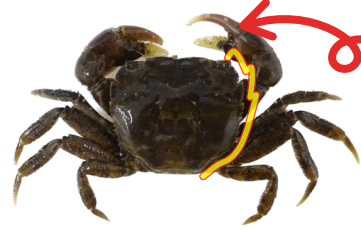


イソガニ

もっともよく見られる種
迷彩柄のような体色



オスのハサミには袋状のぶにぶにがある！



タカノケフサイソガニ

潮だまりで見つかりやすい
体色は褐色や灰色など暗め



オスのハサミには毛の房がある



ヒライソガニ

ハサミの間にはなにもない
先が白い

甲羅が平っぺたい
体色は個体差がある



シワオウギガニ

危険を感じるとうご
体色は個体差がある

ハサミの大きさが左右で違う



マメコブシガニ

前方向によく歩く
体色は個体差がある

イッカクモガニ

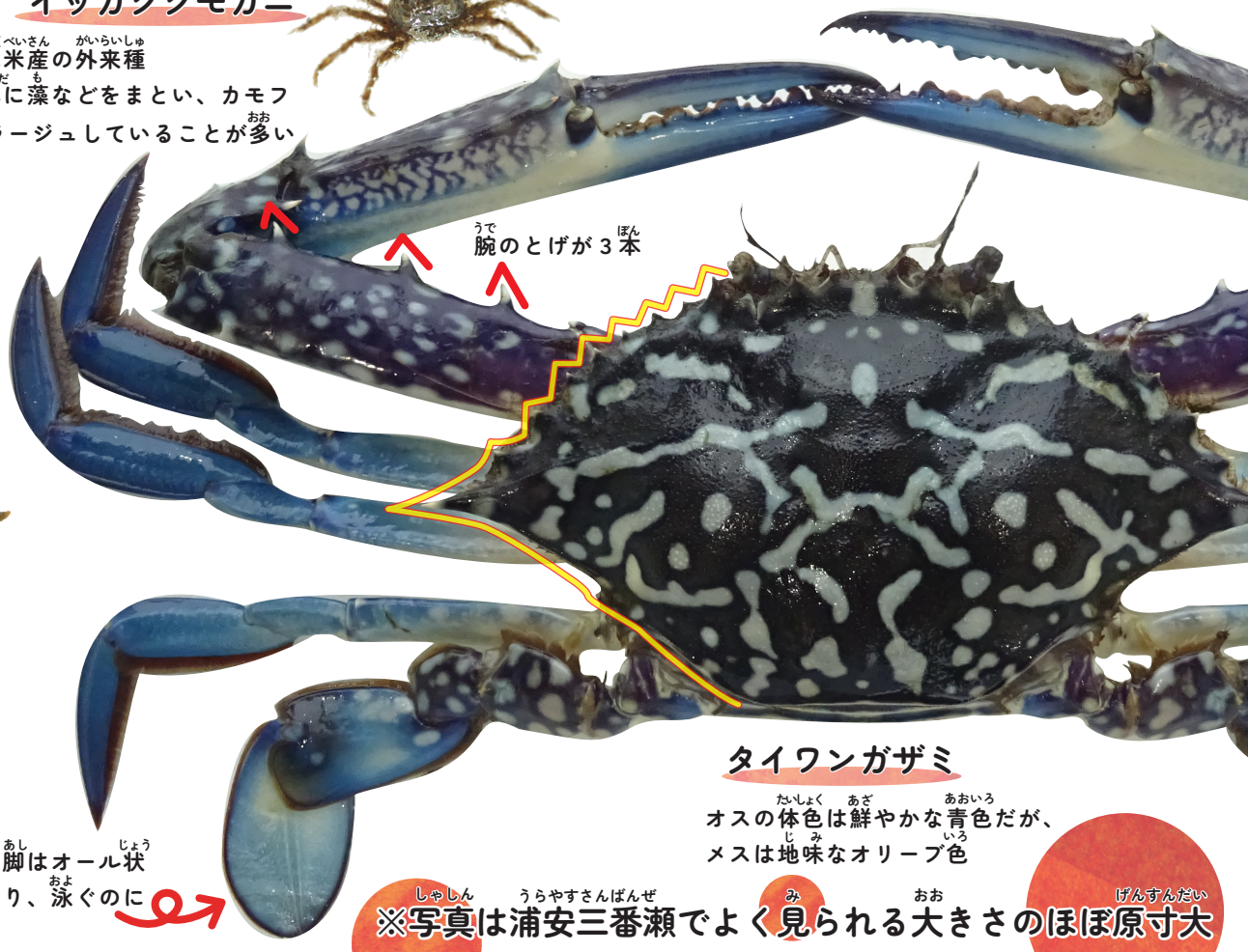
北米産の外来種
体に藻などをまとい、カモフラージュしていることが多い



イシガニ

気が強く、体色は青や紫色が入った個体もある

鋭く危険
挟まれると痛い



タイワンガザミ

オスの体色は鮮やかな青色だが、メスは地味なオリーブ色

腕のとげが3本

一番後ろの脚はオール状になっており、泳ぐのに適している

※写真は浦安三番瀬でよく見られる大きさのほぼ原寸大